

事務連絡
平成 25 年 3 月 12 日

関係者各位

宿毛漁業指導所

赤潮プランクトンの調査について

本日、赤潮プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。検鏡の結果、魚類に対して被害のあるコクロディニウム・ポリクリコイデスが最大で 0.011 細胞/ml、カレニア・ミキモトイが最大で 0.001 細胞/ml、ノクティルカ・シンチランスが最大で 0.035 細胞/ml と非常に低密度ながら確認されました。

※（宿毛湾中央、ヒロウラ及び一切田の海水 1ℓを 1000 倍に濃縮して検鏡しています。）

調査時間 (10:21~12:04) 採集地点	水深 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	溶存酸素 (mg/L)	コクロディニウム・ ポリクリコイデス*1	カレニア・ ミキモトイ*1	ノクティルカ・ シンチランス*1
宿毛湾中央 下図① 透明度 10m	0	18.0	33.7	8.05	0.000	0.000	0.033
	5	18.2	34.0	7.60	0.000	0.000	0.000
	10	18.1	34.0	7.36	0.000	0.000	0.000
ヒロウラ 下図② 透明度 9m	0	18.1	32.8	8.03	0.000	0.000	0.035
	5	18.3	34.0	7.78	0.000	0.000	0.000
	10	18.4	34.1	7.70	0.009	0.000	0.000
一切田 下図③ 透明度 9m	0	17.8	33.1	8.06	0.000	0.000	0.000
	5	18.5	34.0	7.77	0.000	0.001	0.000
	10	18.3	34.1	7.83	0.011	0.000	0.000
真珠 下図④ 透明度 11m	0	18.2	33.6	8.06	0	0	0
	5	18.5	34.1	8.00	0	0	0
	10	18.3	34.0	7.87	0	0	0

*1：魚類に対して被害のある種

事務連絡
平成 25 年 3 月 12 日

関係者各位

宿毛漁業指導所

貝毒プランクトンの調査について

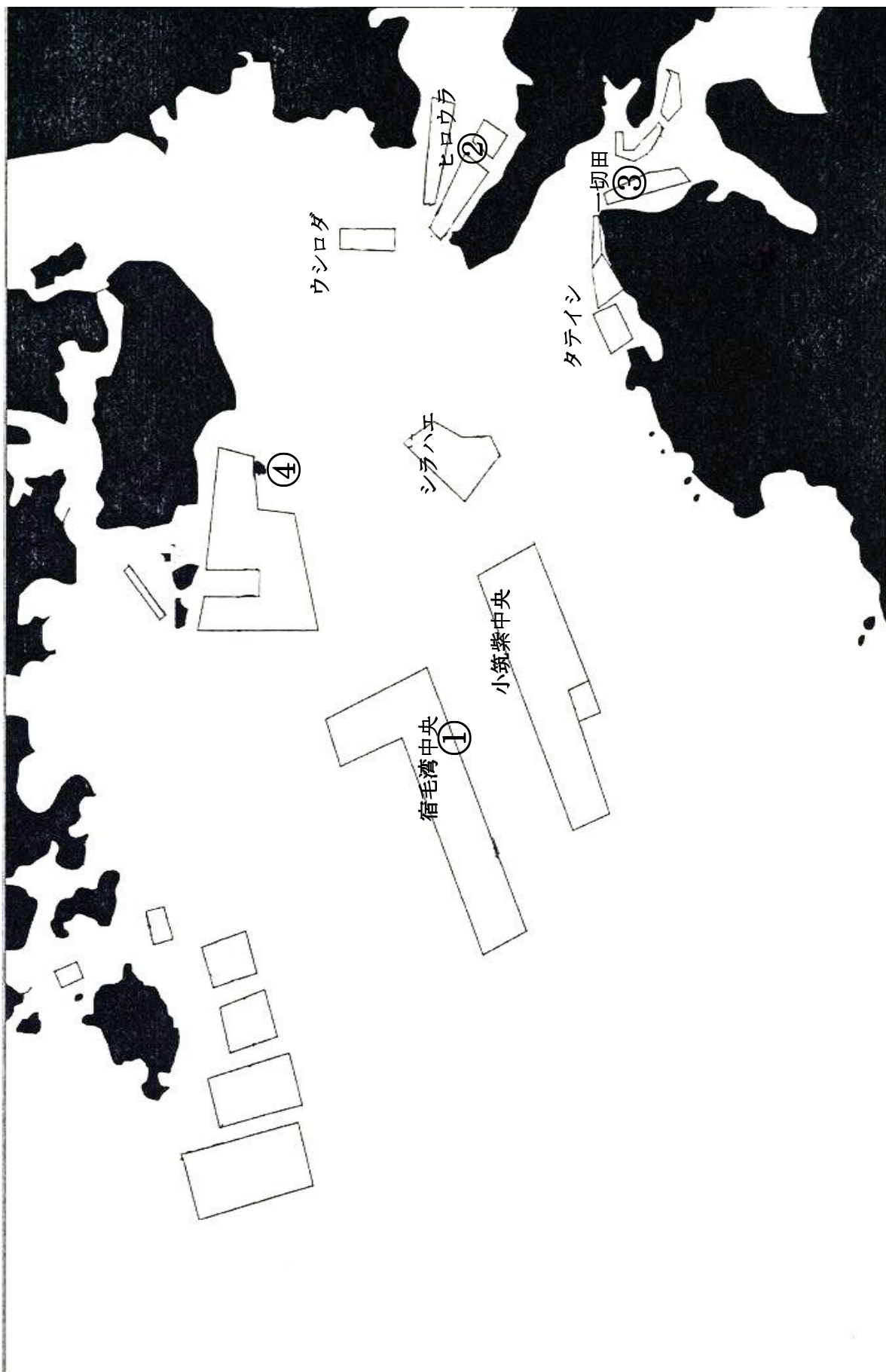
本日、貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。検鏡の結果、麻痺性貝毒の原因種であるギムノディニウム カテナータム及びアレキサンドリウム属が最大で 0.140 及び 0.022 細胞/ml、下痢性貝毒の原因種であるディノフィシス属が最大で 0.052 細胞/ml 確認されました。

※（宿毛湾中央、ヒロウラ及び一切田及の海水 1ℓを 1000 倍に濃縮して検鏡しています。）

調査時間 (10:21~12:04) 採集地点	水深	ギムノディニウム・ カテナータム*1	アレキサンドリウム属 *2	ディノフィシス属*3
	(m)			
宿毛湾中央 下図①	0	0.000	0.004	0.052
	5	0.000	0.000	0.004
	10	0.000	0.000	0.000
ヒロウラ 下図②	0	0.000	0.004	0.008
	5	0.024	0.003	0.015
	10	0.047	0.022	0.000
一切田 下図③	0	0.008	0.000	0.010
	5	0.008	0.000	0.000
	10	0.140	0.012	0.001
真珠 下図④	0	0	0	0
	5	0	0	0
	10	0	0	0

*2：麻痺性貝毒の原因種

*3：下痢性貝毒の原因種



宿毛湾中央 ①

小筑紫中央

シマハチ

ウツロダ

マエバシ ②

マエダ ③

タテイシ